

公式記録



会場主任	平家 義久	主審	中村 翔太
------	-------	----	-------

令和元年度第72回近畿高等学校サッカー選手権大会 男子の部 2回戦 【 11 】 近畿高体連サッカー部

日時	2019年6月16日(日) 10:00 キックオフ			会場	みぎぼうパークひょうご第1球技場					
天候	晴れ	風	弱風	ピッチ	天然芝	人工芝・クレー	状態	良好	試合形式	70分 / 延長 0分 / PK戦 有
運営責任者	笠原 弘樹		会場主任	平家 義久		記録	近藤 照男 / 高田 秀一		観衆	221人
主審	中村 翔太		副審1	堀 善仁		副審2	佐々田 学		第4の審判員	古家 光

チーム名	東海大仰星					2	1	初芝橋本									
選手番号						PK戦	先										
交代	シユート							シユート					交代				
No.	OUT時間	延後	延前	後半	前半	選手名 (学年)	番号	位置	位置	番号	選手名 (学年)	前半	後半	延前	延後	OUT時間	No.

分					若林 帝誠 3年 2	DF	GK	1	横井 海斗 3年								
70分					瀬戸山 翔 3年 3	DF	DF	2	南條 斎 3年								
分					坪内 佑慶 3年 4	DF	DF	3	若松 楽人 3年								
分					高橋 情 3年 5	DF	DF	5	高谷 和希 3年								
19分					京谷 秀 3年 7	MF	MF	6	山口 颯士 3年								
62分				1	1	平野 太智 3年 8	MF	MF	8	河井 章人 3年							
分					2*	美藤 倫 3年 10	MF	FW	10	大谷 滯紅 3年	1	1*					
68分						湯川 翔平 3年 11	MF	FW	11	名願 央希 3年							
分						福留 玲央 3年 16	MF	MF	14	西淵 啓斗 2年	1					52分	
分						高橋 博己 3年 21	GK	DF	16	尾崎 功耀 2年		1					
58分					1*	増澤 岳流 3年 23	MF	MF	18	青山 将大 3年							50分
分						神戸 浩暉 2年 12	DF	DF	4	中井 航 3年							
11分						村上 陽斗 2年 13	MF	MF	7	安藤 優平 3年							
3分						廣岡 一樹 2年 14	MF	FW	9	中谷 将也 3年							
23分						小郷 慎二 3年 15	DF	DF	12	藪内 星英 3年							14分
分						岡田 稜士 2年 17	GK	MF	15	大影 朋輝 2年							
8分						内田 陸季 2年 18	FW	FW	19	梶田 梨生 3年							
22分						小村 和世 2年 20	FW	FW	20	櫻村 宝 2年							18分
7分						能美 佑哉 3年 22	FW	MF	24	笠井 京介 3年							
分						曾田 佳克 3年 24	DF	MF	25	新井 聖斗 2年							

時間	警・退	No.	氏名	事由	合計	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	合計	時間	警・退	No.	氏名	事由
分					5			2	3	シユート	2	2			4	62分	警告	20	櫻村 宝	ラフ
分					4			1	3	GK	1	3			4	分				
分					5			3	2	CK	1	3			4	分				
分					13			7	6	直接FK	8	7			15	分				
分					5			1	4	間接FK	3	1			4	分				
分					0			0	0	PK	0	0			0	分				

[警告事由] 反ス・ラフ・異議・繰返・遅延・距離・無入・無去 [退場事由] 不正・乱暴・つば・阻(手)・阻(他)・侮辱・警2

得点経過	時間	チーム	No.	得点者	スコア	[得点経過]	略号例: ドリブル~・ゴロのパス→・浮き球○・混戦×・ヘディングH・シユートS
	6分	東海大仰星	10	美藤 倫	1-0	FK 中央 5	○ 10 H S
	48分	東海大仰星	23	増澤 岳流	2-0	CK 左 11	○ × 中央 23 右足 S
	64分	初芝橋本	10	大谷 滯紅	2-1	CK 右 2	○ × 中央 10 右足 S
	分				-		
	分				-		
	分				-		
	分				-		

戦評者 所属【 西脇・小野 】 氏名【 鎌田・山口 】

互いに4-4-2のシステムでスタートした。立ち上がりから攻勢を強めていた東海大仰星は、前半6分に得たFKから、MF⑩美藤が抜け出してヘディングシュートを決め、早々に先制する。その後も、守備面において隙を見せることなく、奪ったボールをシンプルに展開する東海大仰星ペースで試合は進むが、初芝橋本も、FW⑩大谷が、常に東海大仰星DFのギャップを狙い続け、存在感を放つ。また、徐々にバイタルエリアで、ショートパスをテンポよく回しながら攻撃を展開できるようになり、ゴール前でFKを得る機会が増える。しかし、ゴールすることが出来ず、前半戦を終えた。後半に入り、流れを掴んだのは初芝橋本。FW⑩名願の仕掛けやFW⑩大谷の仕掛けからチャンスを作る。しかし、東海大仰星は落ち着いてゴール前の強度を高め、きちんと跳ね返し続ける。そして後半48分、ロングカウンターから得たCKのこぼれ球を、東海大仰星MF23増澤が右足で突き刺し、リードを広げる。この得点を機に、流れは再び東海大仰星に傾くも、64分に、ゴールキーパーのクリアミスのかげれ球を、初芝橋本FW⑩大谷が冷静に押し込み、1点を返す。そこからは初芝橋本が攻勢を強め、東海大仰星ゴールに迫るも、東海大仰星はDF⑤高橋を中心に守りきり、東海大仰星が準決勝に進出した。70分間、隙を作ることない、組織的なサッカーを展開した東海大仰星に対して、バイタルエリアに入ってからからの攻撃に迫力がある初芝橋本の対戦は、非常に見応えのある、好ゲームであった。